

せいそう 労働者 速報

2021 年 11 月 11 日
No. 1173
東京清掃労働組合
企画・総務局

2021 年度賃金確定（第 4 回）専門委員会交渉を実施

担当技能長職の確実な配置や、その他の 課題について協議

11 月 11 日（木）15 時 15 分から、2021 年度賃金確定（第 4 回）専門委員会交渉がもたれ、担当技能長職の確実な配置やその他の課題について協議し、わが組合の考え方を主張してきました。

課題の解決のため、23 区統ルール構築を

各区における担当技能長職の確実な配置のため、これまで今年 3 回の専門委員会交渉にて 5 点の課題について主張してきました。わが組合としては、「①技能長とは区別し、担当技能長については作業計画人員として現場定数に入れること。②昇任試験を受ける際、担当技能長と技能長の希望を取ること」この 2 点について、23 区のルールを統一化すれば、多くの課題が解決できると考えています。

23 区での権衡・均衡が図られるべき

担当技能長職がいずれ各区の清掃職場にとって、重要な役割を果たすと確信しています。残念ながら、区ごとに運用方法が異なり、昇任意欲を失わせている区もあります。統一交渉で担当技能長職は設置が決められたもので、その運用が各区事項とはいえ、23 区で権衡・均衡が図られるべきと考えています。

23 区が社会的責任を果たすために、就職氷河期世代の採用を

総務省としても、就職氷河期世代の支援は社会的問題と捉えています。清掃職場では、多くの就職氷河期世代と言われる方々が非常勤職員として、ともに清掃事業を支えてきました。こうした方々に対して 23 区が社会的責任を果たす意味からも、就職氷河期世代を対象とする採用制度を清掃職場にも拡大するよう最後に求めました。

当局が設定した専門委員会は本日が最終となります。この間、3 回の専門委員会交渉、2 回の団体交渉を重ねてきましたが、区長会から一切歩み寄りがありません。当局に決断を迫るためには、各区での区長要請において組合員の怒りをぶつけ、各区から区長会へ声をあげさせるしかありません。組合員の総力を結集し、課題の解決と要求実現にむけて最後の最後まで闘い抜きましょう。